

複合メッキ焼結電極を用いた高出力用途 ニッケル水素電池の開発

企業 / 清川メッキ工業（株）

研究者 / 高島正之（福井大学工学部材料化学科助教授）

新技術コンセプト・モデル：複合メッキ焼結式電極を用いて、高出力密度を有するニッケル水素電池の開発をコンセプトとする。負極材料である水素吸蔵合金表面に複合メッキを行い、これを用いて焼結式電極を試作する。この新規負極を大型電極へと展開し、大容量電池の試作および評価を行った。

大型電極を量産し、50Ahの大型電池を試作し、放電試験を行った。

また、このような50Ah級の電池を60セル作製した。

50Ah電池を10セルで1モジュールとし、4モジュール組み立てて実際の電気自動車に搭載し、走行試験を行った。